

横須賀南高等学校 令和5年度 学校目標

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①学科併置の特色をいかし、一人ひとりの学習ニーズ、進路希望に応えることができるよう教育課程の編成を行うとともに、学校全体の教育活動において福祉の心を育む教育を展開する。</p> <p>②わかることが実感できる学びを提供し学習意欲を高め確かな学力の育成を図る。</p> <p>③福祉科では社会福祉に関する知識と技術を総合的・体験的に学習する教育を推進する。</p>	<p>①学科併置の特色をいかした教育課程の編成および評価のあり方について研究を進め、昨年度から始まった新教育課程への移行を継続して行う。</p> <p>②授業見学、研究授業・協議などを通して、組織的な授業改善の取組を継続し、授業のユニバーサルデザイン化を図り、わかる授業づくりを進め、確かな学力の育成を図る。</p>	<p>①両科の共通理解を図りながら、新教育課程の授業の進め方や評価基準の設定、評価方法の検討をさらに進める。</p> <p>②授業見学、研究授業・協議などを通して、組織的な授業改善の取組を継続し、授業のユニバーサルデザイン化を図ると共に「みなみスタイル」の充実化をさらに促進する。</p>	<p>①学科の特色に合わせた評価基準の策定及び選択科目の設置、加えて評価方法等に関する研修会を実施できたか。(実施状況)</p> <p>②授業見学・研究授業を一人1回以上見学して、職員全体の研修を行い、わかりやすい授業づくりを推進するなど「みなみスタイル」を充実できたか(授業評価)</p>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①生徒の社会化を図るとともに、安全・安心に学べる環境を整えるため、ルール、マナーを大切にする規範意識の醸成を図る。</p> <p>②生徒の状況を的確に把握し、さまざまな課題を抱える生徒に対して一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を学校全体で行う体制を整える。</p>	<p>①理解にもとづく規範意識の育成のため、より生徒との接触の機会を増やして、常に身近な立ち位置で、支援に力点を置いた生活指導をめざす。</p> <p>②支援が必要な生徒の早期発見および初期対応を組織的に行うことで解決・再発防止に努める。また、SC、SSWとの連携をさらに深める。</p>	<p>①可能な限り、生徒に接触できるような機能に変えた各種当番の意識を職員に対して常に発信し、指導と支援の連携を図る。</p> <p>②学年会等で生徒情報をこまめに報告し、週1回開催するコーディネーター会議で共有し、必要に応じてケース会議等を開催する。SC、SSWとの振り返りを充実させ今後の支援に繋げる。</p>	<p>①より身近な位置で生徒との接触を図り、規範意識の向上に資することができたか。指導と支援の連携を高めることで、効果的な生徒指導ができたか。(アンケート)</p> <p>②学年会で生徒情報が報告され、その情報をコーディネーター会議で共有できたか。SC、SSWとの振り返りを行い、その後の支援に繋げることができたか。(アンケート)</p>
3	進路指導・支援	<p>・生徒が主体的に進路を選択できるよう、豊かな人間性や社会性を培い社会的、職業的自立に向けたキャリア教育を充実させる。</p>	<p>・連続した高校3年間のキャリア教育プログラムの再構築に取り組む。</p>	<p>・前年度にまとめたキャリア教育プログラムの試行・検証を通してプログラムの再構築を図る。</p> <p>・このプログラムの実践を通して生徒の社会的・職業的自立と主体的な進路選択を可能にする力を育む。</p>	<p>・連続した高校3年間のキャリア教育プログラムは再構築できたか。(実施状況)</p> <p>・地域企業や関係諸機関と連携し、生徒の主体的な進路選択につながる段階的なガイダンスや情報発信ができたか。また、進路実績の維持向上は実現できたか。(進路実績)</p>
4	地域等との協働	<p>・地域の教育的資源を積極的に活用し、体験的な学びを通して人や社会との関わりを大切にする心を育成するとともに、地域に応援される学校作りを進める</p>	<p>・「ともに支え合う心」が育める協働の仕組み・手立てを再構築する。</p> <p>・広報活動を通して保護者や地域の方々に学校の取組みに対する理解を深めてもらう。</p>	<p>・PTAと共に通学路清掃など地域貢献活動を行う。</p> <p>・学校説明会等を通じて地域に対する学校の取組への理解を深めるとともに、生徒のリーダーシップやコミュニケーション能力の育成のため、生徒による説明を実施する。</p>	<p>・PTAと協働した地域貢献活動が実施できたか。(実績)</p> <p>・学校説明会等を通じて学校の取組への理解を深められたか。また、生徒が直接説明を行うことができたか。(アンケート)</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①生徒が安全・安心に学ぶための防災計画策定や安全管理及び施設設備等の環境整備を進める。</p> <p>②職員が学校教育目標を共有し、風通しのよい職場環境を構築することで事故・不祥事を防止し信頼に根ざした学校運営を推進する。</p>	<p>①生徒が安全・安心に学ぶよう施設設備等の点検・整備や危機管理の改正、活動の支援を進める。</p> <p>②職員が学校教育目標を共有し、学校運営協議会や部会での協議を通して、具体的な取組を行う。</p>	<p>①施設設備等の効率的な管理、防災・減災、不審者対応の見直し、ワークフローの効率化を進める。</p> <p>②学校運営協議会の福祉部会、クリエイティブ部会を活用して具体的な取組の検討・実施を図る。</p> <p>③指定研究事業(SDGs)や「みなみスタイル」の内容を共有するため、研修会や教員の意見交換・共有のための会議(みなみハート会議)を年度行事に組み込み、計画的に取組を行う。</p>	<p>①生徒・教職員のさまざまな活動を安全かつ効果的に支援できていたか。(アンケート)</p> <p>②福祉部会・クリエイティブ部会を活用して具体的な取組を行い、学校運営に活かすことができたか。(具体的取組)</p> <p>③指定研究事業(SDGs)や「みなみスタイル」の内容を共有するための研修会や「みなみハート会議」を通し、「みなみスタイル」の共通理解を図れたか。(授業評価・アンケート)</p>